


(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等	下垣 豪	実践日	令和3年9月29日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	地理歴史科 日本史B		
対象生徒(学年等)	普通科 3年次生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	欧米文化と伝統文化の交錯(明治時代の文化)		
使用したアプリ等	Google クラブルーム、Google フォーム、Google スプレッドシート、NHK for School		
実践の概要(ねらい等)	国語科(現代文)との教科横断型の学習として、「こころ」を取り上げ、作品への理解を地理歴史科的な観点と国語科的な観点との双方から深める。		
実践の内容			
第1時	問いの設定 「夏目漱石はなぜ『こころ』を書いたのか」 夏目漱石について知っていることを入力して共有・・・Google フォーム使用 「こころ」について知っていることを入力して共有・・・Google フォーム使用		
第2時	プリントの空欄を穴埋めして共有・・・Google スプレッドシート使用 知識確認の小テスト①②・・・Google フォーム使用		
第3時(本時)	明治の文学史について説明・・・NHK for School 利用 「こころ」の内容を確認・・・NHK for School 利用 「こころ」が書かれた時代背景を確認・・・教員が発問、説明 問いの答えを入力・・・Google フォーム使用 教科横断の協力者：国語科岡教諭(教材の選定、問いの設定、当日の授業への参加)		
解答のルーブリック			
A(2)	①作品の時代背景をふまえ、②漱石が作品によって表現したかったことを説明できている。		
B(1)	①②のいずれかが欠けている、または両方が不十分である。		
C(0)	①②の両方が欠けている。		
授業の意図と成果			
問いの答えを考えるにあたって、説明は極力少なくし、生徒が日本史と現代文の学習内容を組み合わせて理解する力を試した。今回は試験的な取組みだったが、生徒の解答を見ると、横断的に学ぶことによる相乗効果の可能性を感じることができた。			
参考となるHP等	NHK for School「10min.ボックス 現代文」 <a href="https://www.nhk.or.jp/school/kokugo/10min_gendaibun/">https://www.nhk.or.jp/school/kokugo/10min_gendaibun/</a>		

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)